

日本歯周病学会 第61回 歯科衛生士教育講演会報告

研修会名：日本歯周病学会 第61回 歯科衛生士教育講演会（日本歯科衛生士会 第3次生涯研修）

主催：非営利活動法人日本歯周病学会（歯科衛生士関連委員会）

協力：富山県歯科衛生士会

日時：平成27年12月13日（日）10：00～14：00

場所：富山県歯科保健医療総合センター 3F研修室（富山県富山市五福2741-2、TEL 076-433-2039）

演題：「歯科衛生士に必要な歯周病検査とその実践」

① 検査結果から何がわかるか？

② 明日から活かせるTBI

講師：日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員 伊藤 弘

同 委員 坂井雅子

研修単位：①②の両方に該当する場合は、それぞれの単位取得が可能

①日本歯周病学会会員の場合

- ・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（参加者8単位）
- ・更新時の生涯研修単位（10単位）

②日本歯科衛生士会会員、会員外の場合

- ・第3次生涯研修制度に基づく専門研修単位（歯周治療の基本技術）
 - Ⅱ-A 「歯周組織検査（視診、プロービング等）」（2単位）
 - Ⅳ-A 「セルフケアについて」（1単位）

内 容：

受講者は72名であり、そのうちアンケート回答者56名の内訳は、日本歯周病学会会員7名であった。また、日本歯科衛生士会会員の参加は19名であり、所属は富山県12名、愛知県1名、東京都1名、京都府1名、石川県1名、未回答3名であった。また、日本歯周病学会認定歯科衛生士は5名であり、今後の取得予定者は14名であった。なお平成27年11月30日現在、富山県の認定歯科衛生士数は9名である。

当日は、危惧されていた雪もなく快晴であり、9：00から受付が開始された。

はじめに、富山県歯科衛生士会副会長の荒木千加子氏の司会による開会の辞、続けて研修単位の説明があった。そして講師紹介後、講演に入った。講演では最初に伊藤が、「検査結果から何がわかるか？」と題して、前半は特にプロービングに特化した検査の重要性とその意義について文献的に解説し、検査結果の値から治療結果の予測と治療計画の立案について言及した。後半は、実際の症例を通して検査結果により得られた情報の実践について講演を行った。昼食前には、各参加者に配布した「認定歯科衛生士のすすめ」のリーフレットに基づき、日本歯周病学会のへ入会と認定歯科衛生士取得への説明を行い、来季開催される春季・秋季歯周病学会の案内を行った。

午後の講演開始前に、富山県歯科衛生士会会長の山田尚代氏による、研修単位証明書の説明がなされた。その後坂井による「明日から活かせるTBI」では、「歯周治療における歯科衛生士の役割」「TBIは歯科衛生士の力の見せどころ」としてセルフケアについて解説した。特に、口腔清掃の評価を、不十分な箇所の評価ではなく適確に患者が遂行できた箇所の評価を行う概念について受講者は熱心に耳を傾けていた。

昼食をはさみ3時間に及ぶ講演であったが、参加者は熱心に聴講しメモをとっていた。特に、明日から患者への応用が可能なTBIについての勘所や認定歯科衛生士申請への注意事項に対する質問などの質疑応答が活発に行われ、盛会裡のうちに閉会となった。



講演会場の様子



講師紹介



富山県歯科衛生士会 山田会長と演者